

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山の日サミット 2018 及びその付帯イベント事業
事業主体 (連絡先)	山の日サミット制作局 (090-3456-1656)
事業区分	環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,731,215 円 (うち支援金: 1,137,000 円)

事業内容

山の日サミット制作局は、2016年から制定された「山の日」にちなんで、アウトドアスポーツを愛する者がその活動を通じて自然環境へ貢献することを目的とした、シンポジウムや自然保護活動などの取り組みを行う団体です。今年度は以下のイベント・アクティビティ・活動を通じて、県内外のアウトドアスポーツ好きや地域住民に対する環境問題への理解啓蒙、一般参加者も交えた森林調査など、アウトドアフィールドの保護や自然環境に対する理解促進を進めました。シンポジウム/八ヶ岳森林調査隊/Clean Hike & Flower Watching(エコ登山)/Low Impact Camp(エコキャンプ)/YOGA & トレッキング(森林セラピー)/Little Mountain Mall(マルシェ)/山岳映画上映

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① SNSの広告効果があり、Facebook ページ自体のフォロワーが580人から1,371人に増加、イベントページの興味ありボタンを押した人数は1,904人(加えて各アクティビティのイベントページ有り)。多くの人に認知され、関心を持たれたと考える。
- ② シンポジウム後のアンケートで、約87%の人が「気づき・学び・実践したいこと」があると回答。アウトドアマナーの向上に大きくつながると考える。
- ③ 森林調査隊の通年実施の活動にも講師・スタッフ含め約30名の方々が参加。ゴミを拾いながらハイキングをするクリーンハイクでは参加者で集めたゴミが4.2kgになり、登山ガイドの方から「例年よりゴミが少なく見えた」と言われるほどきれいになった。
- ④ 当日の参加人数は昨年より増えて500人、リピーターも定着してきた。山岳映画祭作品の上映を取り入れたことで、新たな客層の参加も実現した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2019年度以降は、参加者と山の自然について考える「山の日サミットシンポジウム」の開催回数の増加と通年活動をしていく「八ヶ岳森林調査隊」に加え、新たに「クリーンハイク」を通年活動化して、実際の保全活動自体の強化を図っていきたいと考えています。長期的に開催をしていくことで、多くの協力者や参加者を獲得し、長く地域活性化と八ヶ岳の環境保護につなげていきたいと考えます。

(活動写真)



【山の日サミット 2018 当日】

【目標・ねらい】

- ① 山の日サミットの当日のイベントをはじめとした、森林調査隊、各アクティビティ等全活動の認知度の向上
- ② アウトドアマナーの向上
- ③ 八ヶ岳における保全活動の普及と成果
- ④ 八ヶ岳エリアの地域活性化

※自己評価【 A 】

【理由】

当初掲げた①～④について、SNS投稿へのアクション数、参加者数や後援・協力企業数、参加者からのアンケート結果や講師陣の感想コメントからも、高い成果を達成したと感じているためです。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある